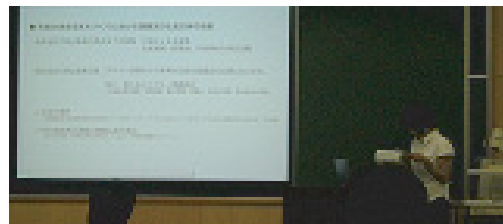


2007夏学期ジュリー発表

今後の研究の発展に期待、そして夏へ

text_shiozawa

7月26日、27日両日は2007年度夏学期の研究発表会、ジュリーが行われた。M1にとっては駆け出しの研究を、またM2にとっては修論の構想を具体化して練り、そして博士課程諸氏は1年に一度の成果発表。全ての発表が終わった27日は真夏のうだるような暑さで、皆連日の発表の準備で疲労を隠し切れない様子だが、一方蝉の鳴き声に夏の到来を感じて、研究しかり、プロジェクトしかり、充電をしてこの夏を越える準備だ。



イルジさん発表の様子

【修士1年】

蛭灰谷愛

「駅空間のあり方と評価に関する研究」

鎌形敬人

「(東京の)緑道の形成史および計画思想に関する研究」

亀長尚尋

「景観形成への市民参加」

北村修一

「連続立体交差事業および並行して行われた都市計画事業の評価」

鈴木惇也

「海面上昇を景気とした水上都市の形成」

大道亮

「団地建替時の空間構成に関する研究」

パンノイ・ナッタポン

「Jリーグプロサッカークラブと地域づくりに関する研究」

平岡惟

「廃校後の小学校が地域に与える影響について」

増田圭輔

「都市計画事業を促進する融資手法に関する研究」

矢原有理

「地区保全における諸制度の運用実態と影響に関する研究」

山田渚

「広域観光ネットワークに関する事例整理と、今後の研究方針について」

【修士2年】

石井宏典

「小豆島・磐の郷のまちづくりの研究
～過疎地域の伝統的産業群保全の施策について～」

伊藤雅人

「東京山の手における小河川とその近辺に存在する近隣商店街との関連性に関する研究」

奥田紘子

「大規模開発に伴って創出される公園的空間の公共性に関する研究」

塩澤涼子

「近代以降の「広場」の計画思想と空間の変遷に関する研究～帝都復興・戦災復興計画に着目して～」

筒井直央

「米軍基地跡地の留保地利用に関する研究」

横田俊介

「都市の夜間景観形成の系譜に関する研究
—日本のまちなか夜景とは—」

吉田拓

「日本国内におけるブラウンフィールド再生政策の今後について」

ウィチエンブラディット・ボンサン

「日本における屋台の系譜とまちづくりへの展開に関する研究」

ファズリ・ピンズビ

「PLACEMAKING WITHIN THE CONTEXT OF WATERFRONT DEVELOPMENT: A STUDY ON THE PLANNING AND DESIGN OF ODAIBA WATERFRONT, TOKYO」

【博士1年】

金宗範

「韓国の住宅地におけるコミュニティベースプランニングに関する研究」

Le Quynh Chi

「IMPACT OF TOURISM ON PLACES OF CULTURAL SIGNIFICANCE IN VILLAGE OF VIETNAM」

Tiansoon Sirisrisak

「Cultural Landscape Conservation, Case Study: Historic Urban Landscape of Bangkok Old Town」

【博士2年】

馬場美彦

「A Study of Community-Oriented Design in Inner City of Kyoto」

「京都と深部におけるコミュニティ志向型デザインに関する研究」

永瀬節治

「<参詣都市>における景観体験とその成立基盤に関する研究」

【修士2年】 鄭一止

「韓国ソウル北村地域の町並み保全型まちづくりにおける住民組織の活動に関する研究—特に調停役に着目して—」



イルジさんは今回修論発表。
ほんとにおつかれさまでした!

倉橋宏典さんご結婚

D4 岡村祐

去る7月14日(土)都市デザイン研究室08倉橋宏典君(福井県三国町出身・都市環境研究所勤務)の結婚披露パーティがお茶の水・山の上ホテルにて開かれました。お相手は、高島藍さん。

同日、昼過ぎから開かれた結婚披露宴には西村先生も参列され、また結婚パーティには、多くの研究室08・06が全国各地から駆けつけました。披露宴に出席できなかった北澤先生からは、倉橋君の学生時代を振り返り、「演習や卒業設計で、自分の考えを熱く語る様子を見て、アーバンデザイナーとしての資質があると思った」とか、最近の最近の柏の葉での仕事ぶりから、「なかなか力をつけてきたと思います。」といったコメントが披露され、大変盛り上がりました。末永くお幸せに。



新宿Pは今、景観行政へ向けて

超大作の報告書のできるまで

text_shiozawa

柏木と榎という地に着手してからもちろんそれは現在進行形で進められ、一方今までの地域の整理が始まり、「新宿」は研究室の合言葉かと思われるほどに浸透しきった。夜が更けても熱い議論を交わす博士二人の姿、絵を描き大量のデータを整理してゆくメンバーたちの姿、こうして大作までの地盤ができています。



D2 中島 伸

7月23日(月)新宿区役所にて、西村先生も委員として参画されている景観まちづくり審議会が行われ、新宿区エリア別景観方針の内容に関する審議が行われました。進士会長の進行の中、新宿プロジェクトで調査している成果を中島、野原両助教によって発表され、区民の委員の方を交え議論されました。早稲田大学後藤研と工学院大学窪田研との合作による報告書は80ページを超える大作。内容に関しても概ね了承された形となり、最終的な合意に向けて、修正が加えられ、新宿区の景観行政に活かされていく予定です。

2007年度第9回研究室会議

text_ishii

夏学期最後となる研究室会議が7月13日に行われた。「活動/デザイン/土地利用」とバラエティに富んだ研究の切り口は、本研究室の懐の広さをうかがわせる。発表者とテーマは以下の通り。

- M1 矢原有理
『都市保全計画の運用における評価と課題について』
- M1 平岡佳
『廃校小学校の利用について』
『地蔵盆と景観、まちづくりについて』
- M1 増田圭輔
『NPO活動支援システムの構築』
- M1 山田渚
『大学と都市の関係を決定付ける空間的要因に関する考察～学生街を切り口として～』
『住宅地における色彩計画の手法に向けた研究』
- D1 金宗範
『住宅地の特性に応じた都市再生の可能性に関する研究（コミュニティ活性化を通じて）－韓国釜山市の類型別住宅地を中心に－』
- M2 鄭一止
『歴史的町並みの保全における住民まちづくりに関する研究－韓国ソウル北村地域の韓屋村における住民組織の活動及び役割を中心に－』
- M2 筒井直央
『有償三分割方式による米軍接收地の返還について』

編集後記

text_ishii

夏学期が終わるや、続々と東京を離れる研究室メンバー。我がが塩澤マガジン編集長もアメリカへ旅立ってしまいました。いつも以上に文字が多いのは、外国で日本語が恋しくなったときじっくり読み返して欲しい、という深遠な配慮？…なわけはないですね。かく言う僕も本日より地方へ発ちます。みなさま良い夏休みを。

プロジェクトこの半年

－その1 八尾・新宿－

夏学期も終わる節目の時期、各プロジェクト活動の重心は少しずつ若い世代に移りつつある。グループのダイナモとして汗をかきつづける修士1年の皆さんに、活動に対するいつわらざる想いを聞いた。

『八尾、よろしく！』（八尾プロジェクト）

M1 亀長尚尋

今、まさに八尾に発つ直前です。

八尾は、おわらや諏訪町通りなどの資源に恵まれた町ですが、実際の訪問や調査によって、通年観光の不活や過疎化・高齢化に対する生活の問題を抱えていることが分かりました。

今年のプロジェクトはまだ走り出したばかりですが、今後も町民の方々とのセミナーなどの活動を通して、八尾町について深く考えるとともに、まちづくりと自分との距離

『空間→平面』（新宿プロジェクト）

M1 増田圭輔

都市デザインに興味を持つようになってから、景観をただ漠然と見て「なんかいいなー」とか「うーんいいち」みたいな感覚的に捉えるだけでなく、その要因を探るようにはしていたけど、それをさらに平面の地図上におとすという作業はめちゃくちゃ難しいですねー。しかも「日常の風景じゃん」みたいな。

日常の風景に溶け込んだ些細な特徴を見出して、その構造を平面におとすという作業。おもしろいけど大変ですな。

東京を駆ける 第2回 ランナーと橋

text_ishii

一時期、隅田川沿いの遊歩道『隅田川テラス』を筆者はランニングコースとして愛用していた。両国橋・蔵前橋・厩橋・駒形橋・吾妻橋…ご存知



の通り、隅田川の橋梁群は秀作揃いで多様性に富み、見るものを全く飽きさせない。殊に、川べりを走るランナーにとっては、次々と眼前に現れ来る橋は目標であり、通り過ぎた橋はランニングの勲章となる。下流から上流へ、文化財級の橋を「征服」していくわけで、これはなんとも贅沢な話であった。

しかし、これらの橋は常に垂直に相向かうわけで、本来の用途どおり、橋を渡る機会は意外に少ない。むしろこの意味でお世話になったのは、隅田川へ注ぐ日本橋川・神田川など支流をまたぐ橋であった。毎日なにげなしに踏み越えてきたこれら無名の支流橋こそ、実はいぶし銀の来歴を持つ橋だと知ったのは、比較的近年の話である。

<代表的な支流橋>

- 南高橋…亀島川（中央大橋～佃大橋）
帝都復興時、明治期の旧両国橋の部材を再利用。東京のトラス橋の中で2番目に古い。
- 相生橋…晴海運河（永代橋下流）
橋の中間に中ノ島があり、小公園となっている。
- 豊海橋…日本橋川（隅田川大橋～永代橋）
梯子状のフィーレンデール橋。
戦前の物は日本に2例のみ。